

長野大学紀要

第40巻第2号 (通巻第143号)

長野大学

2018年11月

目 次

〈論 文〉

- 上田市の農民美術から見える地域の芸術的潜在力
..... 石 川 義 宗 1
- 莫言『赤い高粱』試論 — 魯迅「阿Q 正伝」、老舍『駱駝祥子』との比較から見た語りの特徴(1)
..... 嶋 田 聡 13
- 肢体不自由者の合理的配慮受入に関する基礎的研究
— 大学生の抱く肢体不自由のイメージ —
..... 丹 野 傑 史・小 川 夏 帆・加 藤 忍・上 條 ほのか・松 平 理 沙 23

〈2017年度長野大学研究助成金による研究報告〉

(準備研究)

スコットランドの学校評価システムの研究

ーポスト新自由主義の公共サービス統制システムー

..... 久保木 匡 介 31

上田市における自殺予防施策の形成評価

ーゲートキーパー養成研修の効果評価と自殺未遂者支援のプログラム理論の構築を柱としてー

..... 塩 津 博 康・小 高 康 正 33

成人脳性まひ者のキャリア形成の実態と支援可能性

..... 丹 野 傑 史 35

画像計測に基づいた歴史建造物のデジタルアーカイブに関する研究

..... 望 月 宏 祐 37

農業環境政策における“reference level”概念の整理と検討

..... 吉 村 武 洋 39

(地域・社会貢献研究)

都市への他出家族が人口減少地域の維持存続に果たす役割の社会的解明

ー長野県下伊那郡天龍村役場との連携研究ー

..... 相 川 陽 一・丸 山 真 央・福 島 万 紀 41

塩田平のため池群における水資源利用の変遷と新たな利用価値の創出

..... 高 橋 大 輔・高 橋 一 秋・森 本 英 嗣・吉 村 武 洋 45

地域文化財情報のデジタルアーカイブ支援プラットフォームの開発

..... 田 中 法 博 47

塩田地域の放棄竹林の利用価値創出に向けた竹粉利用の検証とそれによる影響評価

..... 森 本 英 嗣 49

2017年度 長野大学研究助成金による研究一覧

区分	研究者	テ ー マ
準備研究	1 久保木匡介	スコットランドの学校評価システムの研究ーポスト新自由主義の公共サービス統制システム
	2 塩津 博康	上田市における自殺予防施策の形成評価ーゲートキーパー養成研修の効果評価と自殺未遂者支援のプログラム理論の構築を柱としてー
	3 丹野 傑史	成人脳性まひ者のキャリア形成の実態と支援可能性
	4 望月 宏祐	画像計測に基づいた歴史建造物のデジタルアーカイブに関する研究
	5 吉村 武洋	農業環境政策における”reference level”概念の整理と検討
地域・ 社会貢献研究	1 相川 陽一	都市への他出家族が人口減少地域の維持存続に果たす役割の社会学的解明ー長野県下伊那郡天龍村役場との連携研究
	2 高橋 大輔	塩田平のため池群における水資源利用の変遷と新たな利用価値の創出
	3 田中 法博	地域文化財情報のデジタルアーカイブ支援プラットフォームの開発
	4 森本 英嗣	塩田地域の放棄竹林の利用価値創出に向けた竹粉利用の検証とそれによる影響評価

長野大学紀要編集規程

(名称および発行)

第1条 本誌を「長野大学紀要」(以下「本紀要」という。)と称し、年4回発行することを原則とする。

(目的)

第2条 長野大学において教員が行っている研究および本学で実施された共同研究や受託研究の成果を学内外に紹介し、長野大学の教育・研究活動の活性化に寄与することを目的とする。

(編集委員会)

第3条 長野大学図書館運営委員会のもとに、長野大学紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)を置く。編集委員会委員長は図書館運営委員会委員長が兼ねる。

2 本紀要の原稿の募集・編集は編集委員会が行う。

(投稿資格)

第4条 投稿できる者は原則として本学の専任教員、名誉教授とする。ただし、本学の非常勤講師等も投稿することができる。

2 本学の教員と共同研究を行う者。

3 本学学生・研究生等は、投稿資格を有する教員等が共著者である場合は投稿を認める。

4 その他編集委員会が認めたもの。

(投稿原稿)

第5条 本紀要に掲載する原稿は他に未発表のものに限り、種類は次の各号に掲げるものとする。

(1) 論文

(2) 研究ノート

(3) 書評

(4) その他の編集委員会の認めたもの

(研究倫理の遵守)

第6条 本紀要に投稿する原稿は、長野大学研究倫理規程に則ったものであること。

(点検)

第7条 本紀要に掲載される論文等の水準を維持するために、編集委員会が点検を行う。場合によっては編集委員以外の者の意見を聞くことがある。

2 編集委員会は点検の結果に基づき、原稿の内容について執筆者に修正を求めることがある。

3 点検についての詳細は別に定める。

(掲載の可否)

第8条 編集委員会は点検結果に基づき、投稿原稿の掲載の可否を決定する。

(著作権)

第9条 本紀要に掲載された論文等の著作権の取り扱いは、以下のとおりとする。

(1) 著作権は著者に帰属する。

(2) 著者は著作物の複製権と公衆送信権の行使を大学に委託する。

(3) 本紀要に記載された論文の全部あるいは大部分を他の著作物に利用する場合には、その旨を編集委員会に申し出るとともに、出典を明記すること。また、一部分を利用する場合にも、文献あるいは図説の下に出典を明記すること。

(論文等のネットワーク上での公開)

第10条 本紀要に掲載された論文等は、原則として電子化し、長野大学ホームページ等を通じてネットワーク上に公開する。

2 公開を希望しない場合は、寄稿申込時に所定の手続きにより、公開を拒否することができる。

(配布)

第11条 発行された紀要は専任教員、客員教員、名誉教授および非常勤講師等へ配布する。

(抜刷)

第12条 執筆者には抜刷50部を配布する。ただし、50部をこえる分については執筆者がその費用を負担するものとする。

(執筆要領)

第13条 原稿は別に定める執筆要項にしたがうこととする。

(改廃)

第14条 この規程は改廃は、全学教授会の意見を聴き、学長が行う。

附則

本規程は平成29年4月1日から施行する。

編集委員会

委員長 塚瀬 進

委員 石川 義宗, 越田 明子, 高木 潤野

高橋 一秋, 望月 宏祐

2018年11月30日 発行

長野大学紀要 第40巻第2号(通巻143号)

編集 長野大学紀要編集委員会

発行所 長野大学

長野県上田市下之郷658-1

TEL (0268)39-0005

印刷 中澤印刷株式会社

上田市住吉1-6

TEL (0268)22-1045

BULLETIN OF NAGANO UNIVERSITY

Vol. 40, No. 2 , November 2018

CONTENTS

Articles

- A Cultural Potential of Local Community seen in the Peasant Art Movement,
'Nomin-bijutsu' of Ueda City (Nagano).
Yoshimune ISHIKAWA 1
- A Study of "Hong Gao-liang" by Mo Yan : The Characteristics of Narration Compared
with "A-Q Zheng-zhuan" by Lu Xun, and "Luo-tuo Xiang-zi" by Lao She(1).
Satoshi SHIMADA 13
- A Basic Study on Acceptance of Reasonable Accommodation for A Person with Physical
Disabilities; Image of Physical Disabilities by University Students
Takahito TANNO・Kaho OGAWA・Shinobu KATO・Honoka KAMIJO・
Risa MATSUHIRA 23